

広島大学 病院輸血部 2018 年業績

1) 論文

- 1) 藤井輝久: 梅毒～古くて新しい感染症～. 広島市医師会だより. 630: 7-10, 2018.
- 2) 藤井輝久: 半減期延長型血友病治療製剤の使い方. 血栓止血誌. 29(6):741-743, 2018.
- 3) 藤井輝久: コンドームの使用や予防としての治療を受ける、あるいは感染を軽減する性行動（禁欲・節制）をとる MSM における HIV 感染暴露前予防の効果. HIV 感染症と AIDS の治療. 9(2): 50-53, 2018.
- 4) 藤井輝久: 半減期延長凝固因子製剤（第Ⅷ因子、第Ⅸ因子）. 臨床に直結する血栓止血学改訂 2 版, p637-677, 中外医学社、2018, 東京.

2) 学会発表

- 1) 新谷智章、山崎尚也、岩田倫幸、齋藤誠司、北川雅恵、小川郁子、岡田美穂、濱本京子、藤井輝久、栗原英見、柴秀樹：HIV 陽性者における口腔環境と味覚機能について. 第 11 回日本口腔検査学会. 2018 年 8 月 25 日～26 日. 東京
- 2) 丸山栄子、池田有里、宮原明美、藤井輝久、品川佳子、谷岡直子：中国・四国ブロック中核拠点病院 HIV 担当看護師の課題～HIV 担当看護師会議のアンケートより～. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2018 年 12 月 2 日～4 日. 大阪
- 3) 喜花伸子、杉本悠貴恵、内野悌司、早坂典生、栗栖茂、藤井輝久：NPO と協働した HIV 検査相談研修会の効果についての検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2018 年 12 月 2 日～4 日. 大阪
- 4) 石井聡一郎、秋月萌、藤井健司、藤田啓子、畝井浩子、丸山栄子、高田昇、山崎尚也、藤井輝久：薬剤師による小児 HIV 感染症患者への服薬支援. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2018 年 12 月 2 日～4 日. 大阪
- 5) 杉本悠貴恵、喜花伸子、黄寛美、柿本聖樹、井上暢子、山崎尚也、丸山栄子、宮原明美、池田有里、村上英子、石井聡一郎、藤田啓子、畝井浩子、齋藤誠司、高田昇、藤井輝久：広島大学病院に初回受診した HIV/AIDS 患者の服薬開始までの心理的プロセスについて. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2018 年 12 月 2 日～4 日. 大阪
- 6) 藤井輝久、山崎尚也、井上暢子、柿本聖樹、齋藤誠司、石井聡一郎、藤田啓子、畝井浩子：TDF より TAF 変更例における血中クレアチニン及び eGFR 値の変化. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2018 年 12 月 2 日～4 日. 大阪
- 7) 横幕能行、今橋真弓、伊藤俊広、山本政弘、岡慎一、豊嶋崇徳、茂呂寛、渡邊珠代、渡邊大、藤井輝久：エイズ診療の拠点病院の診療機能評価と課題の検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会. 2018 年 12 月 2 日～4 日. 大阪
- 8) 岡崎玲子、蜂谷敦子、佐藤かおり、豊嶋崇徳、佐々木悟、伊藤俊広、林田庸総、岡慎一、瀧永博之、古賀道子、長島真美、貞升健志、近藤真規子、椎野禎一郎、

須藤弘二、加藤真吾、谷口俊文、猪狩英俊、寒川整、加藤英明、石ヶ坪良明、中島秀明、吉野友祐、太田康男、茂呂寛、渡邊珠代、松田昌和、重見麗、岩谷靖雅、横幕能行、渡邊大、小島洋子、森治代、藤井輝久、高田清式、南留美、山本政弘、松下修三、健山正男、藤田次郎、杉浦互、吉村和久、菊地正：国内新規 HIV/AIDS 診断症例における HIV-1 の動向。第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会。2018 年 12 月 2 日～4 日。大阪

- 9) 山崎尚也、丸山栄子、杉本悠貴恵、村上英子、宮原明美、池田有里、喜花伸子、石井聡一郎、小林正夫、藤井輝久：妊娠 4 ヶ月で実施した HIV スクリーニング検査が陰性であった母子感染の一例。第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会。2018 年 12 月 2 日～4 日。大阪
- 10) 新谷智章、山崎尚也、岩田倫幸、齊藤誠司、岡田美穂、松井加奈子、畝井浩子、藤田啓子、濱本京子、木下一枝、池田有里、藤井輝久、柴秀樹：抗 HIV 薬が口腔環境と味覚機能に及ぼす影響。第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会。2018 年 12 月 2 日～4 日。大阪
- 11) 村上英子、山崎尚也、藤井輝久、宮原明美、池田有里、石井聡一郎、藤田啓子、畝井浩子、杉本悠貴恵、丸山栄子、喜花伸子、齊藤誠司、高田昇：ワークショップ 受診中断者を“ゼロ”にする～受診・服薬継続管理アプリ「せるまね」の活用が自己管理能力に与える影響～。第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会。2018 年 12 月 2 日～4 日。大阪
- 12) 井上暢子、山崎尚也、藤井輝久：ART 療法開始後に自己免疫性溶血性貧血 (AIHA) を発症した一例。第 88 回日本感染症学会西日本地方会学術集会。2018 年 11 月 16 日～18 日。鹿児島
- 13) Teruhisa Fujii Naoya Yamasaki, Seiji Saito, Tomie Fujii. Individualized prophylaxis can contribute to decreasing annualized bleeding ratio (ABR) in adult persons with hemophilia A. XXXIII International Congress of the World Federation of Hemophilia. 2018 年 5 月 20-24 日。Glasgow.
- 14) 藤井輝久、長尾 梓、日笠 聡、松下 正、野上恵嗣、森永 剛、福武勝幸。半減期延長型第 VIII 因子製剤 BAY 94-9027 の安全性と有効性：日本人サブ解析の結果。第 40 回日本血栓止血学会学術集会。2018 年 6 月 28-30 日。札幌。
- 15) 藤井輝久、山崎尚也。血友病 A 患者の定期補充療法における半減期延長製剤変更後の効果。第 40 回日本血栓止血学会学術集会。2018 年 6 月 28-30 日。札幌。
- 16) 藤井輝久、山崎尚也、井上暢子、柿本聖樹、齊藤誠司、石井聡一郎、藤田啓子、畝井浩子。TDF より TAF 変更例における血中クレアチニン及び eGFR 値の変化。第 32 回日本エイズ学会学術集会。2018 年 11 月 27-29 日。大阪。
- 17) Tomie Fujii, Teruhisa Fujii, Sanae Oriyama, Yukiko Miyakoshi. The mothers' thought and measures for the hemophilic carriers to notify their daughters in Japan. XXXIII International Congress of the World Federation of Hemophilia. 2018 年 5 月 20-24 日。Glasgow.

- 18) 野崎晶太, 野間慎尋, 栗田絵美, 山岡愛子, 小松真由美, 河野真由, 廣瀬祥子, 矢内綾佳, 下本和輝, 平野洋子, 石田誠子, 井上暢子, 山崎尚也, 藤井輝久. ヒト骨髄由来間葉系幹細胞テムセル HS 注の院内管理体制構築と使用経験. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会. 2018 年 9 月 8 日. 山口.
- 19) Naoya Yamasaki, Kyoko Kajihara, Hiromi Nakagawa, Michiya Yokozaki, Terhisa Fujii. Chromogenic assay may be more superior to one-stage assay for measuring factor VIII activity? 第 79 回日本血液学会総会学術集会. 2018 年 10 月 12-14 日. 大阪.
- 20) 梶原享子, 中川浩美, 中村友紀子, 津川和子, 山崎尚也, 藤井輝久, 篠原翔, 新井信夫, 横崎典哉. 凝固波形解析 (CWA) の基準値の設定とクロスミキシング試験評価の検討. 第 65 回日本臨床検査医学会学術集会. 2018 年 11 月 15-18 日. 東京.
- 21) 井上暢子, 山崎尚也, 藤井輝久. ART 療法開始後に自己免疫性溶血性貧血(AIHA)を発症した一例. 第 88 回日本感染症学会西日本地方会. 2018 年 11 月 16-18 日. 鹿児島.